

- 問1 大正時代に使用されていた放送用受信機は、箱型の本体の前面に複数のダイヤルが並び、その上部にラッパのような形の大きな拡声器が設置されているという独特の形状をしていました。この受信機によって楽しまれた放送が始まった時代（1925年）の、日本の社会状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 愛媛県公立入試 類似）
1. 文明開化が進み、銀座にレンガ街が作られたり太陽暦が導入されたりした。
 2. 政党政治の発達や普通選挙法の制定など、民主主義的な風潮が高まっていた。
 3. 武士による政治から天皇を中心とする政治へと変わり、身分制度の廃止が行われた。
 4. 高度経済成長を背景に、カラーテレビや自動車などの「新三種の神器」が普及した。
- 問2 大正時代、政治学者である吉野作造が提唱した思想で、天皇主権の憲法の下にあっても、政治の目的は民衆の幸福にあり、政策決定は民衆の意向に従うべきであるとする考え方を何といいますか。（2017年 和歌山県公立入試 類似）
1. 民本主義
 2. 自由民権運動
 3. 三民主義
 4. 社会主義
- 問3 1917年9月に21円余りであった米1石あたりの価格は、1918年8月には38円を超え、1年足らずで約1.8倍に急騰しました。これに対し、富山県の漁村の女性たちが米の積み出しを阻止したことから始まり、全国的な民衆運動へと発展した出来事を選んでください。（2019年 埼玉県公立入試 類似）
1. 足尾銅山鉱毒事件
 2. 日比谷焼打事件
 3. 秩父事件
 4. 米騒動
- 問4 日露戦争を終結させたポーツマス条約が結ばれた1905年から、清で辛亥革命が起こった1911年までの期間、日本の社会や文化において生じた出来事として最も適切なものを選びなさい。（2015年 長崎県公立入試 類似）
1. 平塚らいてうが、女性解放を目的とした雑誌『青鞥』を創刊した。
 2. 島崎藤村が、近代詩の先駆けとなる『若菜集』を発表した。
 3. 与謝野晶子が、日露戦争に出征した弟を思う詩「君死にたまふことなかれ」を雑誌『明星』に発表した。
 4. 福沢諭吉が、人間の平等と学問の重要性を説いた『学問のすゝめ』を出版した。
- 問5 1925年に「普通選挙法」と「治安維持法」が同時に制定された理由として、当時の政治的・社会的な背景をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。（2025年 岐阜県公立入試 類似）
1. 欧米諸国からの強い要求により、日本の議会政治を廃止して軍部による独裁体制を確立することが急務であったため。
 2. ソ連との国交が結ばれたことをきっかけに、日本国内のすべての政治団体を解散させて天皇中心の新しい政治組織を作るため。
 3. 第一次世界大戦後の好景気によって国民の生活が豊かになったため、政治への関心をあえて低下させる必要があったため。
 4. 選挙権の拡大により社会主義や共産主義の影響力が増すことを政府が恐れ、民主化の動きを管理・抑制しようとしたため。
- 問6 1918年に富山県の海岸沿いの村から始まり、全国へと広がった民衆の抗議運動（米騒動）の背景について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 高知県公立入試 類似）
1. 韓国併合に反対する現地の人々が米の輸出を拒否したため、日本国内の米の在庫が減少した。
 2. 世界恐慌による景気の悪化を受け、政府が米の流通を制限したことで都市部での供給が不足した。
 3. 日露戦争の戦地へ送る食料を確保するために、政府が農民から強制的に米を徴収した。
 4. ロシア革命への干渉を目的とした軍隊の派遣を見越し、商人が米を買い占めたことで価格が急騰した。
- 問7 1918年に発生した全国的な米騒動は、当時の政治体制に大きな影響を与えました。この騒動を鎮圧できず退陣した寺内正毅内閣のあとに、日本で初めて本格的な政党内閣を組織した人物は誰ですか。（2026年 奈良県公立入試 類似）
1. 加藤高明
 2. 原敬
 3. 板垣退助
 4. 犬養毅
- 問8 1920年に行われた第14回衆議院議員総選挙において、464議席のうち過半数を超える278議席を獲得し、政党政治の全盛期を築いた政党と、その党首として「平民宰相」と呼ばれた人物の組み合わせとして正しいものはどれか。（2017年 香川県公立入試 類似）
1. 政党：立憲民政党、人物：浜口雄幸
 2. 政党：憲政会、人物：加藤高明
 3. 政党：立憲同志会、人物：大隈重信
 4. 政党：立憲政友会、人物：原敬
- 問9 大正時代に「大衆文化」と呼ばれる新しい文化の形態が発展した背景について、最も適切に説明しているものはどれですか。（2022年 三重県公立入試 類似）
1. 藩閥政治の崩壊により、武家社会に由来する能や狂言が一般市民の間で再び主流の娯楽となったため。
 2. 第一次世界大戦後の不況対策として、政府が映画や演劇の入場料をすべて無料にする政策をとったため。
 3. 政府が言文一致体による国定教科書を廃止し、欧米の言語による直接教育を全土で実施したため。
 4. 義務教育の普及や都市化が進む中で、ラジオ放送の開始や円本の普及といった、安価で大量の情報を得る手段が整ったため。
- 問10 1914年に始まった第一次世界大戦において、日本が参戦した理由とその後の動向について説明したものとして、正しいものはどれですか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
1. 日英同盟を理由に参戦し、戦後のベルサイユ条約によって中国におけるドイツの権益を引き継いだ。
 2. 日英同盟を理由に参戦し、戦後のポーツマス条約によって中国におけるロシアの権益を引き継いだ。
 3. 三国干渉への反発から参戦し、戦後の不平等条約改正によって千島・樺太の領有権を確立した。
 4. 三国同盟を理由に参戦し、戦後のポーツマス条約によってロシアから台湾を獲得した。
- 問11 20世紀初頭のヨーロッパにおいて、急速に勢力を拡大するドイツに対抗するため、イギリス、フランス、ロシアの3か国が結成した協力関係の名称を選びなさい。（2014年 沖縄県公立入試 類似）
1. 大陸封鎖令
 2. 三国同盟
 3. 三国協約
 4. 国際連盟
- 問12 大正時代、都市を中心に生活様式が変化し、文化が一般大衆にまで広く浸透しました。1925年に放送が開始され、文字を介さずに音楽やニュースなどの情報を人々に届け、大衆文化の形成に大きな役割を果たしたメディアは何ですか。（2022年 三重県公立入試 類似）
1. ラジオ放送
 2. 有線放送
 3. インターネット通信
 4. テレビ放送
- 問13 1912年に発足した第3次桂太郎内閣に対し、長州藩などの有力者が政治の実権を握り続ける「藩閥政治」を批判し、憲法に基づいた政治を求める運動が全国的に激化しました。この運動を何と呼びますか。（2019年 徳島県公立入試 類似）
1. 自由民権運動
 2. 第一次憲政擁護運動
 3. 普通選挙運動
 4. 国家総動員運動

答え合わせ・解説

問1	答え 2 政党政治の発達や普通選挙法の制定など、民主主義的な風潮が高まっていた。	1925年は大正14年にあたり、大正デモクラシーの最盛期から末期に位置します。この年には、ラジオ放送の開始と同時に、満25歳以上の男性に参政権を認める「普通選挙法」が制定されるなど、政治や文化の両面で大きな転換点を迎えました。
問2	答え 1 民本主義	吉野作造は、大日本帝国憲法における天皇主権と、近代的な民主主義を両立させる理論としてこの思想を説きました。この考え方は、民衆の政治参加を求める「大正デモクラシー」の理論的支柱となり、のちの普通選挙法制定などの動きを後押しすることになりました。
問3	答え 4 米騒動	1918年に発生した米騒動は、生活に困窮した民衆が米の安売りを求めて、米屋や地主を襲った運動です。統計資料に見られるような急激な価格高騰が、人々の生活を圧迫したことが直接的な原因となりました。この騒動の結果、当時の寺内正毅内閣は退陣に追い込まれ、本格的な政党内閣である原敬内閣が誕生するきっかけとなりました。
問4	答え 1 平塚らいてうが、女性解放を目的とした雑誌『青鞥』を創刊した。	平塚らいてうによる『青鞥』の創刊は1911年であり、辛亥革命と同じ年にあたります。これは大正デモクラシーへと向かう時期の重要な社会運動の一つです。与謝野晶子の「君死にたまふことなかれ」は日露戦争中の1904年に発表されたものであり、福沢諭吉の著作や島崎藤村の詩集はさらにそれ以前の明治時代の出来事です。
問5	答え 4 選挙権の拡大により社会主義や共産主義の影響が増すことを政府が恐れ、民主化の動きを管理・抑制しようとしたため。	大正デモクラシーの流れの中で普通選挙を求める声が高まりましたが、当時の政府はロシア革命の影響による共産主義思想の波及を強く警戒していました。そのため、納税額による制限を撤廃して有権者を増やす代わりに、天皇制（国体）の変革や私有財産制度の否認を目的とする結社を厳罰に処す治安維持法を導入し、自由な政治運動に枠をはめようとしたため。
問6	答え 4 ロシア革命への干渉を目的とした軍隊の派遣を見越し、商人が米を買い占めたことで価格が急騰した。	1917年にロシア革命が起こると、日本を含む列強諸国はこれに干渉するためにシベリアへの出兵（シベリア出兵）を決定しました。この軍事行動が始まると軍用米の需要が高まると予想した商人たちが、利益を得るために米を買い占めたため、市場の米価格が急激に上昇しました。これに怒った富山県の漁村の主婦たちが米の安売りを求めて運動を起こし、全国的な米騒動へと発展しました。この混乱の結果、当時の寺内正毅内閣は退陣に追い込まれました。
問7	答え 2 原敬	米騒動による社会不安を收拾できなかった寺内正毅内閣が総辞職した後、立憲政友会の総裁であった原敬が首相に選ばれました。陸軍・海軍・外務大臣以外の閣僚を衆議院の第一党から選んだこの内閣は、本格的な政党内閣の始まりとして大正デモクラシーの象徴となりました。
問8	答え 4 政党：立憲政友会、人物：原敬	1918年の米騒動を受けて寺内正毅内閣が退陣した後、立憲政友会の総裁であった原敬が首相に指名されました。1920年の総選挙では、原内閣のもとで与党である立憲政友会が464議席中278議席という圧倒的な過半数を確保し、本格的な政党政治の基盤を固めました。原敬は爵位を持たない衆議院議員であったため、国民から「平民宰相」と呼ばれて期待を集めました。なお、憲政会や立憲民政党は当時の対立政党です。
問9	答え 4 義務教育の普及や都市化が進む中で、ラジオ放送の開始や円本の普及といった、安価で大量の情報を得る手段が整ったため。	都市部に住む労働者や中産階級が増加したことに加え、義務教育による識字率の向上、さらにラジオや低価格の書籍（円本）といったメディアの技術革新が重なったことが要因です。これにより、それまで知識層や富裕層に限られていた文化の享受が、広く一般大衆へと開放されました。
問10	答え 1 日英同盟を理由に参戦し、戦後のベルサイユ条約によって中国におけるドイツの権益を引き継いだ。	日本は1902年に結ばれた日英同盟を背景に、連合国側として第一次世界大戦に参戦しました。戦後、パリ講和会議で結ばれたベルサイユ条約（ヴェルサイユ条約）により、それまでドイツが持っていた中国の山東省における利権（ドイツの権益）などを継承することが国際的に認められました。選択肢にある「ロシアから台湾を獲得した」という事実はなく、台湾は日清戦争後の下関条約によって清から割譲されたものです。また、ポーツマス条約は日露戦争の講和条約です。
問11	答え 3 三国協商	20世紀初頭、ヨーロッパでは帝国主義諸国の対立が深まり、二つの大きな陣営が形成されました。このうち、イギリス、フランス、ロシアの3か国が結んだ協力関係は三国協商と呼ばれます。これに対し、ドイツ、オーストリア、イタリアの3か国による軍事同盟を三国同盟と呼び、この二大陣営の対立が第一次世界大戦の背景となりました。
問12	答え 1 ラジオ放送	1925（大正14）年に東京、大阪、名古屋で始まったこの放送は、それまでの新聞や雑誌といった活字メディアとは異なり、音声を介してリアルタイムで情報を伝える画期的な手段となりました。これにより、家庭にいながら娯楽や知識を得ることが可能になり、文化の画一化と大衆化を加速させました。
問13	答え 2 第一次憲政擁護運動	明治時代から続く、薩摩・長州藩出身者を中心とした「藩閥（はんぱつ）」による政治への不満から起こった運動です。「閥族打破・憲政擁護」をスローガンに掲げ、尾崎行雄や犬養毅らが中心となって国民に呼びかけました。この運動の盛り上がりにより、桂内閣はわずか50日余りで退陣に追い込まれました。